

世界が 懸念していること

2024年1月



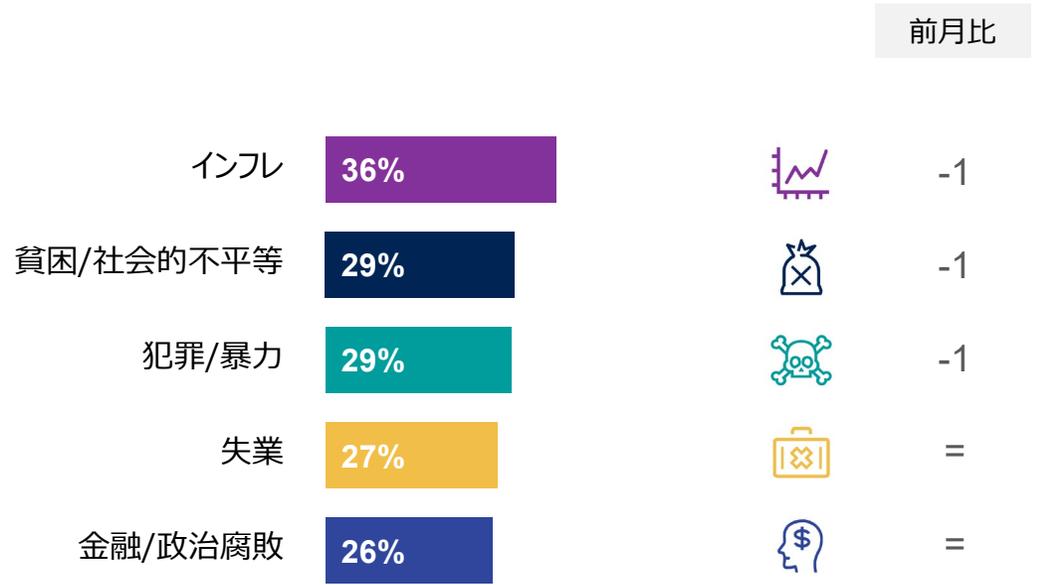
GAME CHANGERS



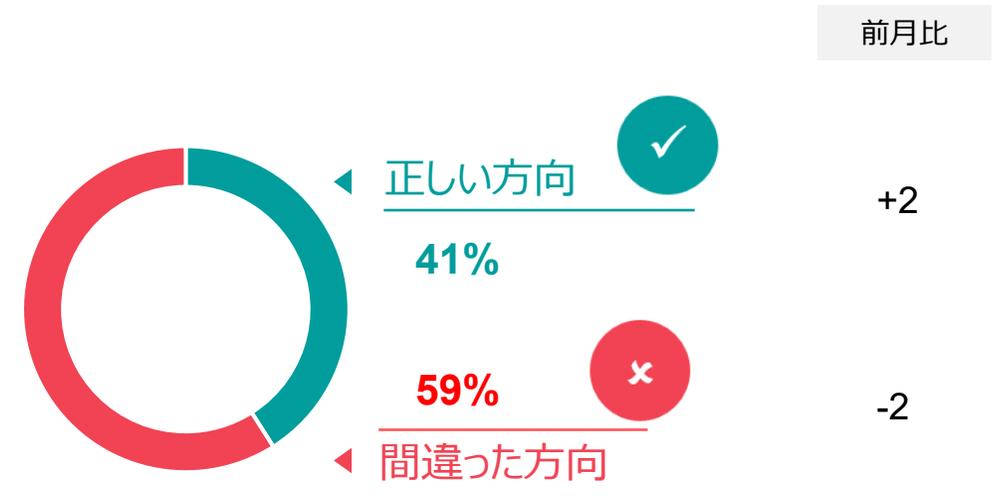
世界が懸念していること 2024年1月

インフレは22ヶ月連続で最大の懸念事項となっており、29カ国で36%が主要課題として挙げています。残りの上位4つの懸念事項は、先月から大きく動いていません。自国が正しい方向に向かっていると答えた割合は2ポイント上昇しています。

Q 次のうち、自国で最も懸念されている3つは何ですか？



Q 自国は正しい方向に向かっていると思いますか、または間違った方向に進んでいると思いますか？



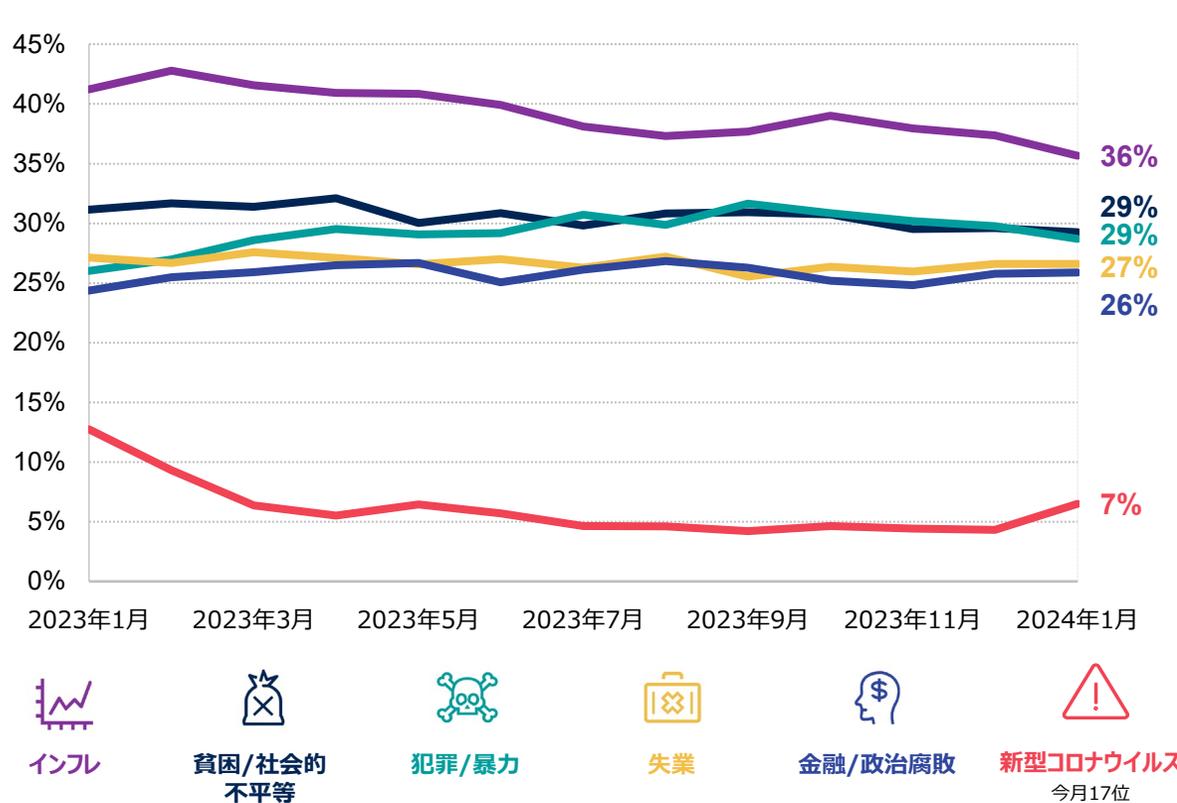
ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル22,270人。2023年12月22日～2024年1月5日に調査。
出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。



世界が懸念していること 12か月のトレンド

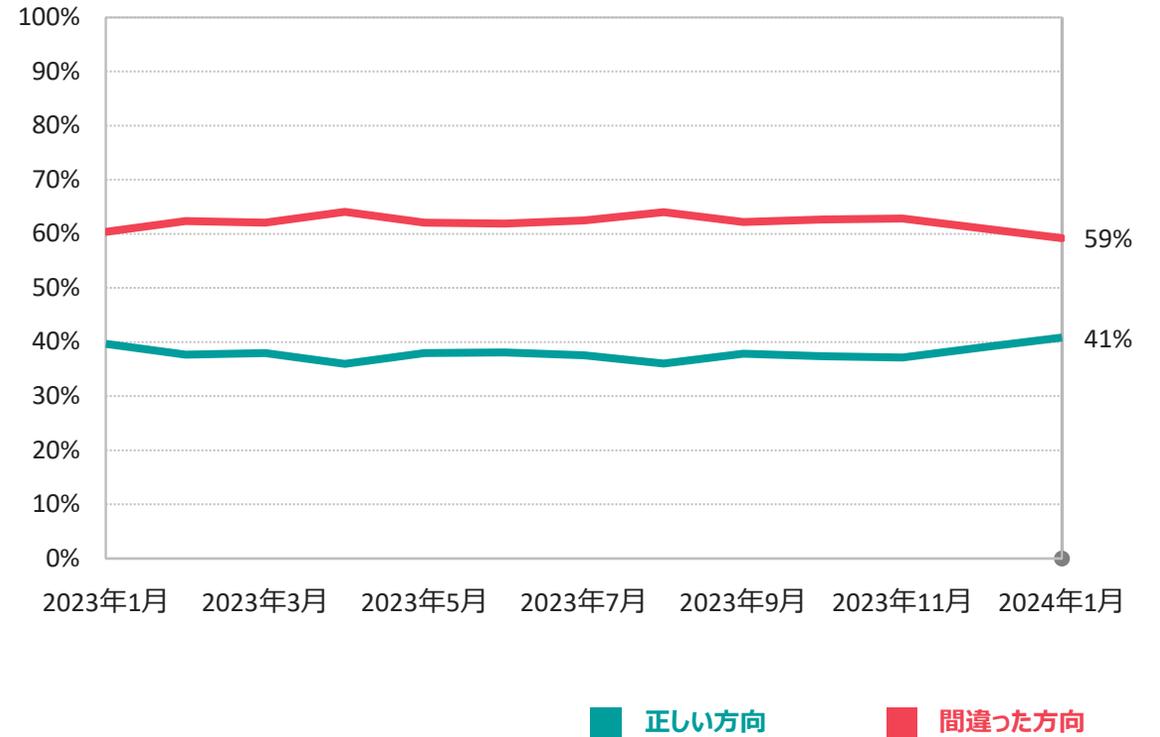
Q

次のうち、自国で最も懸念されている3つは何ですか？



Q

自国は正しい方向に向かっていていると思いますか、または間違った方向に進んでいると思いますか？



ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル22,270人。2023年12月22日～2024年1月5日に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

4 © Ipsos | 世界が懸念していること

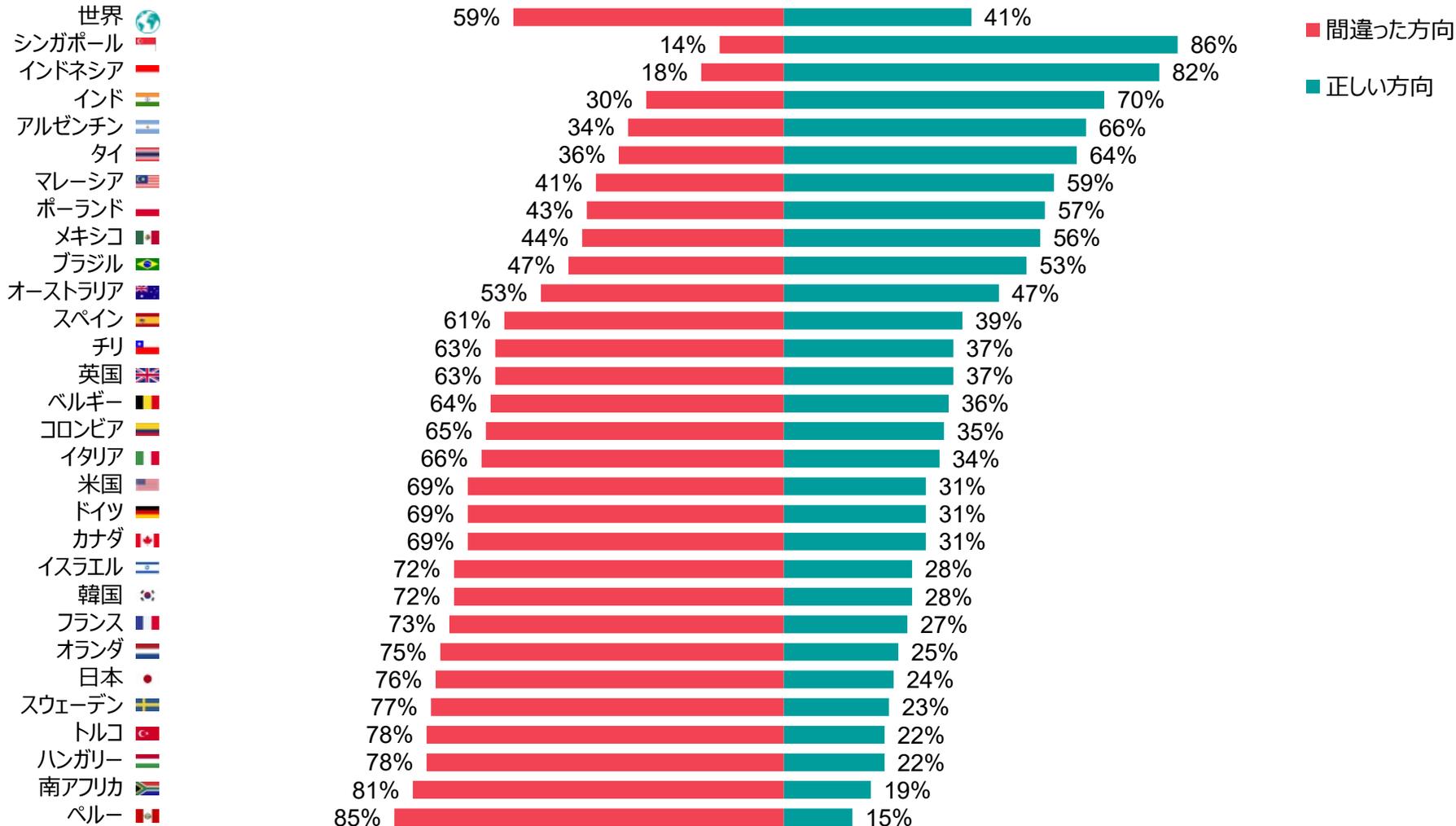
Filter: Country: World | Current Wave: Jan 24



各国が進む方向性 全29カ国

正しい方向/間違った方向

Q 自国は正しい方向に向かっていていると思いますか、または間違った方向に進んでいると思いますか？ (2024年1月)



5分の2強(41%)が、自国は正しい方向に向かっていていると回答しており、先月より2ポイント上昇しています。これは1年前より1ポイント高い結果です。

アルゼンチンの11月の選挙後の「正しい方向」スコアは高水準を維持しています。今月は6ポイント増の66%で、2016年1月の68%に次いで、過去10年間で2番目に高いスコアとなっています。変動は大きく、アルゼンチンが過去最低の「正しい方向」スコア(8%)を記録したのは昨年5月のことでした。

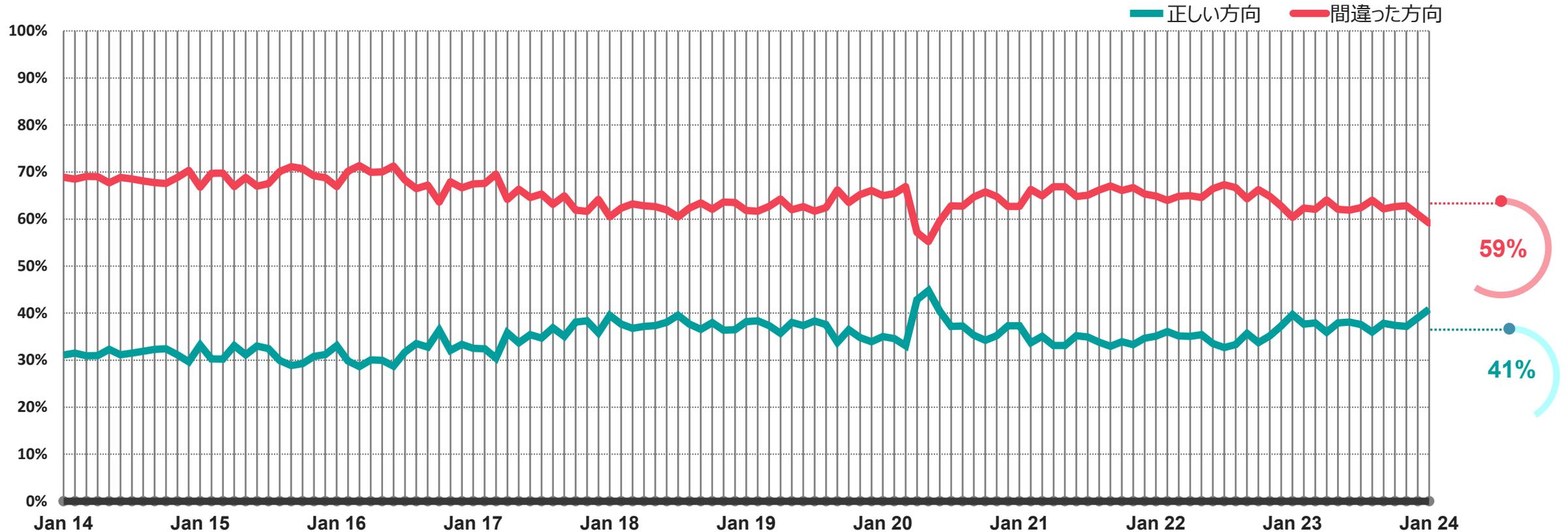
ポーランドも同様の現象が見られていますが、その程度は同じではなく、新年に入り7ポイント増加し57%を記録しています。アルゼンチンとは異なり、ポーランドではこれが過去10年間で最も高い「正しい方向」スコアです。

ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル22,270人。2023年12月22日～2024年1月5日に調査。
 出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。



世界における、正しい方向/間違った方向

Q 自国は正しい方向に向かっていると思いますか、または間違った方向に進んでいると思いますか？



ベース：調査対象29カ国の16～74歳の成人約22,270人の代表サンプル(2014～2024年)。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

7 © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Jan 24



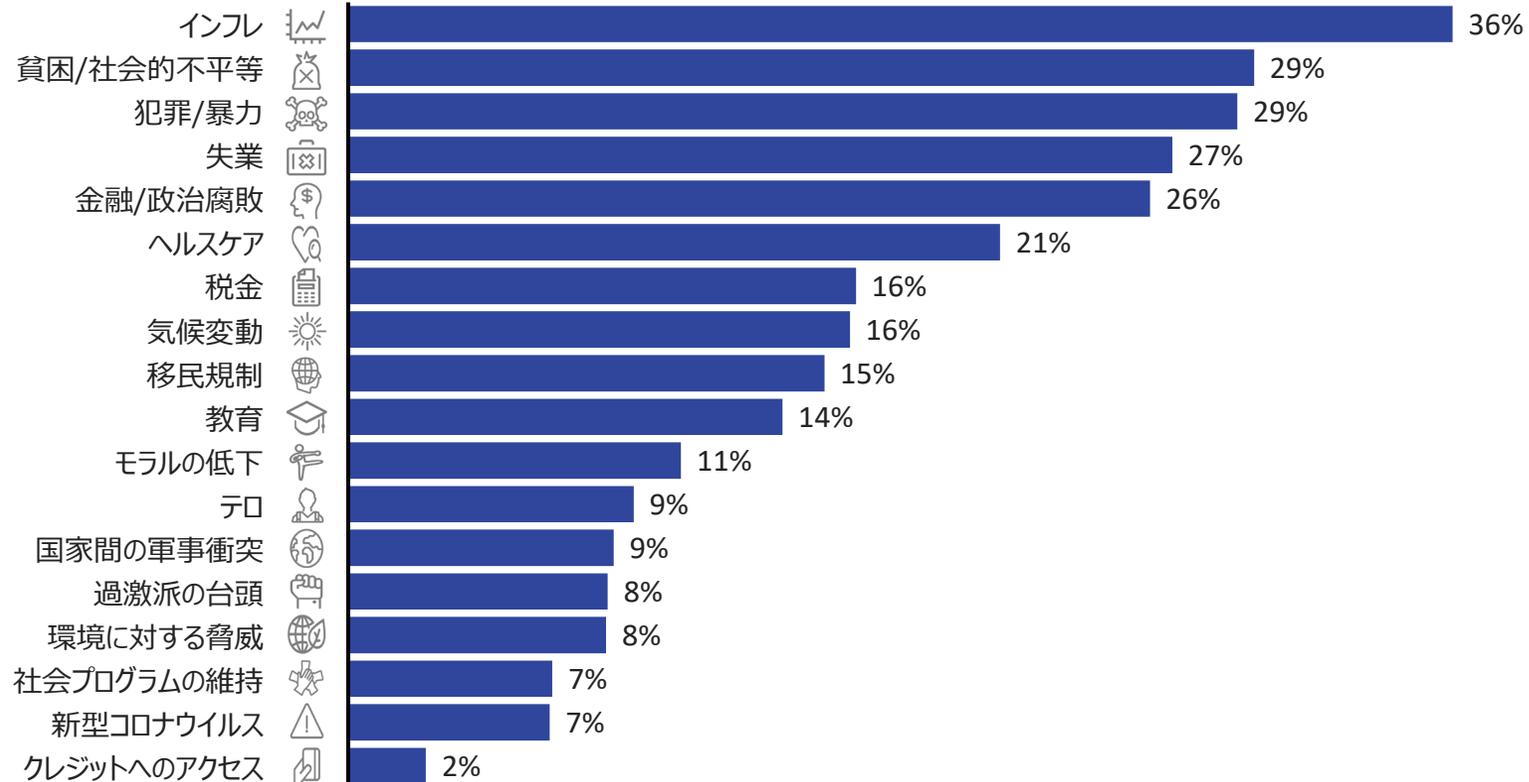
世界が懸念していること ランキング上位の懸念



世界の懸念事項：全18項目リスト

Q 次のトピックのうち、あなたの国で最も懸念されていると思うものを3つ選んでください。

2024年1月の回答 世界各国平均(%)



インフレは過去22ヶ月連続で最大の懸念事項となっています。若干低下し36%となり、2022年5月(34%)以来の低水準です。この数字は、昨年この時期に記録されたスコアより4ポイント低いものの、2022年1月のスコアを16%も上回る高水準です。

テロと国家間の軍事衝突は、依然として歴史的に高いレベルにあります。テロは先月と変わりませんが、国家間の軍事衝突はわずかに増加し、14位から13位に順位を上げています。

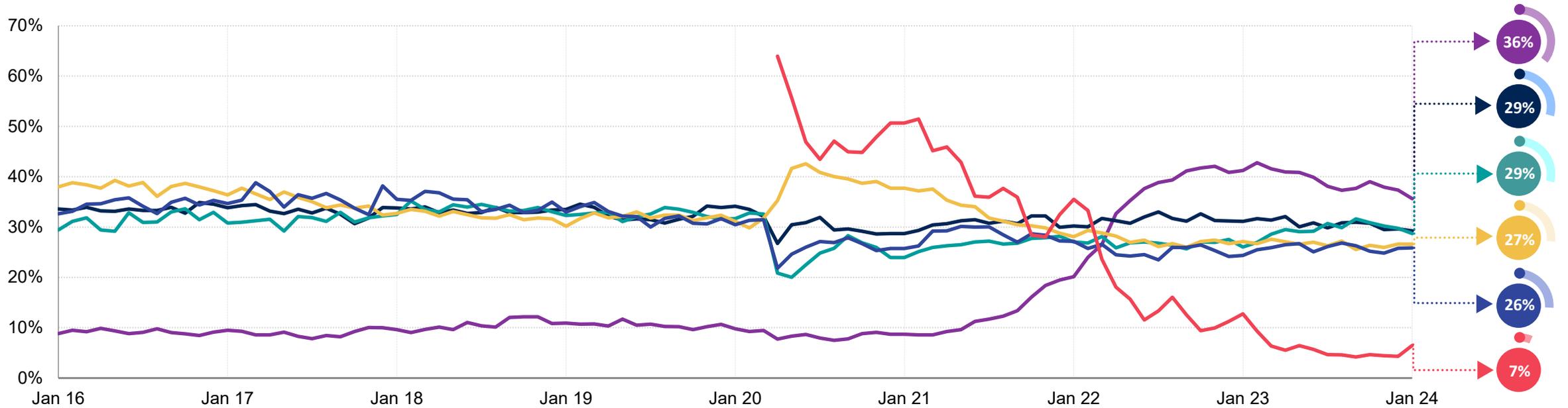
ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル22,270人。2023年12月22日～2024年1月5日に調査。

出典：Ipsosグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

世界の懸念事項：長期トレンド

Q 次のトピックのうち、あなたの国で最も懸念されていると思うものを3つ選んでください。

世界各国平均




インフレ


貧困/社会的不平等


犯罪/暴力


失業

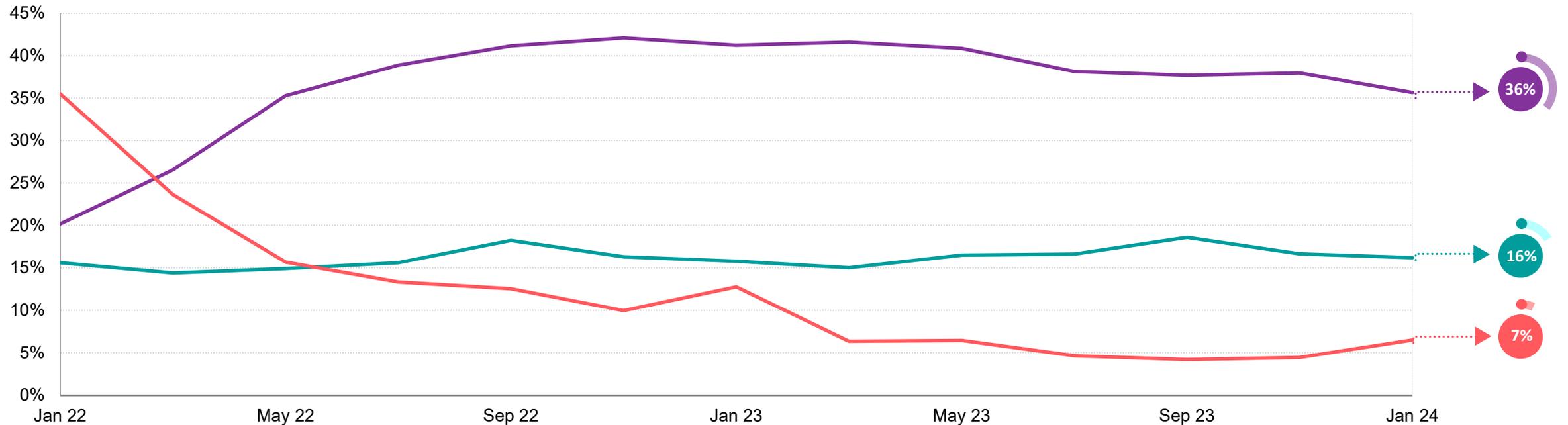

金融/政治腐敗


新型コロナウイルス

ベース：調査対象29カ国の16～74歳の成人約22,270人の代表サンプル(2016～2024年)。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

世界の懸念事項：長期トレンド (インフレ、気候変動、新型コロナウイルス)



インフレ

気候変動

新型コロナウイルス

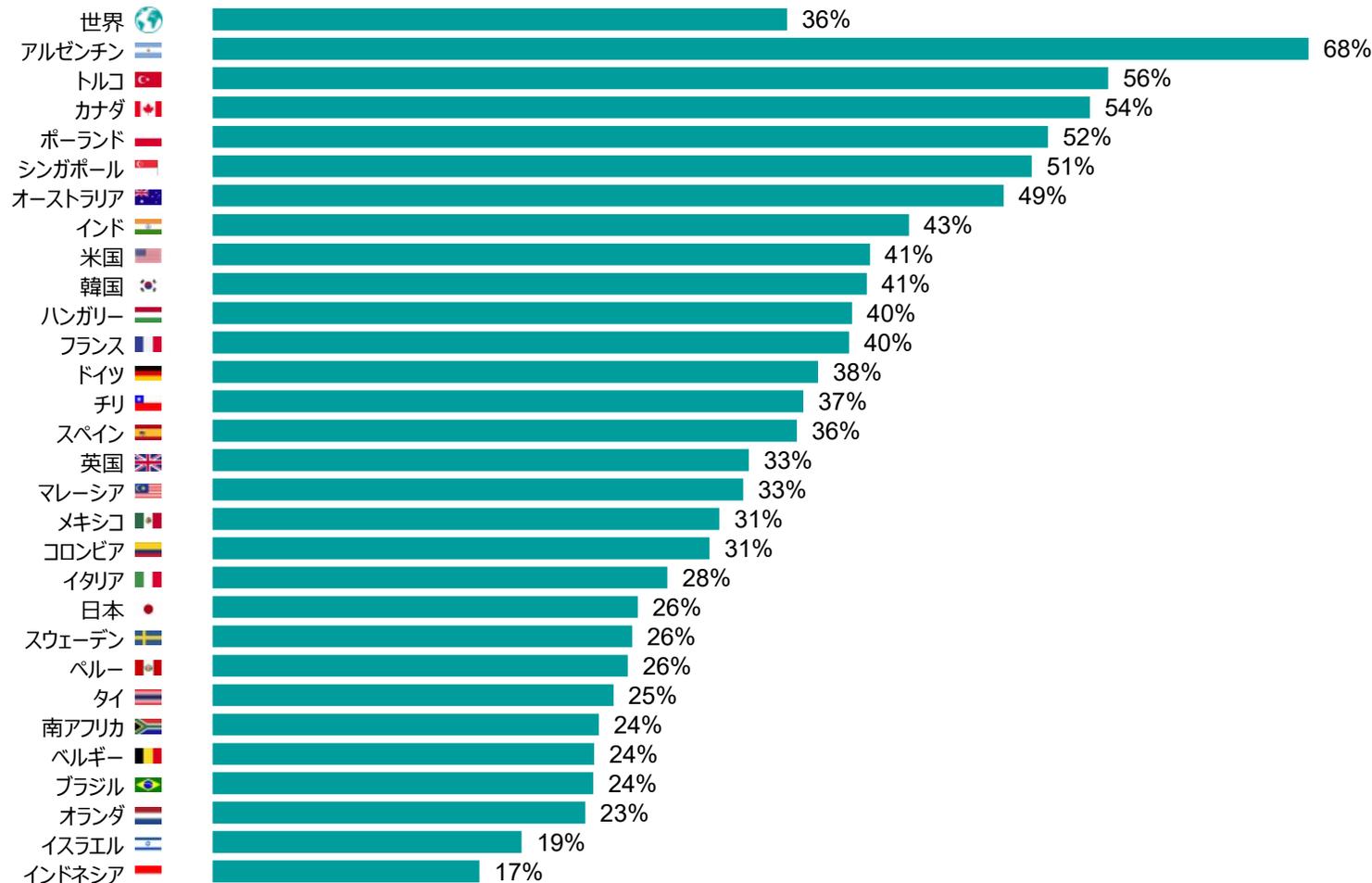
ベース：調査対象29カ国の16～74歳の成人約22,270人の代表サンプル(2022年1月～2024年1月)。
出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。
出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。新型コロナウイルスは2020年4月に調査に導入。

11 © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Jan 24



1 | インフレ

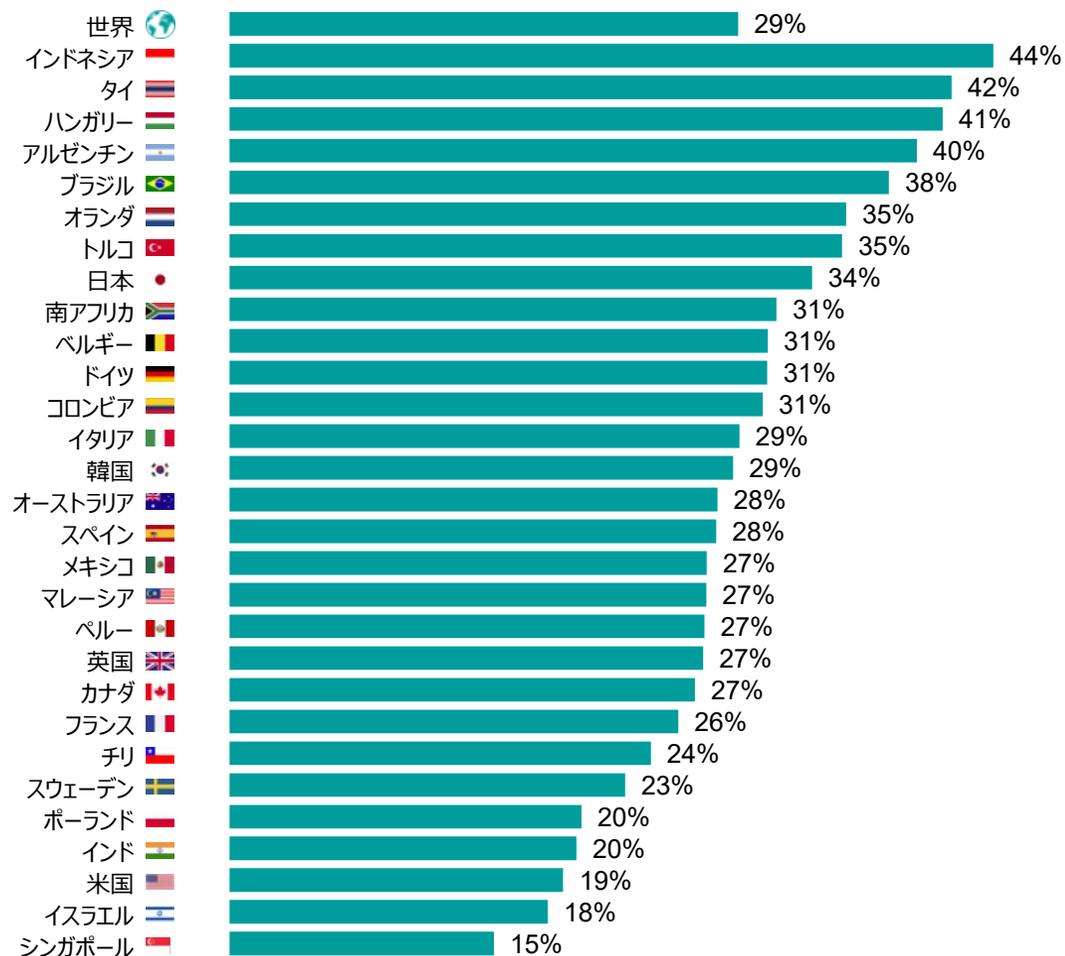


インフレを自国の最大の懸念事項として選んだのは10人に4人弱(36%)です。過去3ヶ月連続で減少し36%となり、2022年5月(34%)以来の低水準です。この数字は、昨年この時期に記録されたスコアより4ポイント低いものの、2022年1月のスコアを16%も上回る高水準です。

最も懸念している上位5カ国のうち4カ国で今月回答が減少しています。ポーランド(52%)だけが増加しています(4ポイント増)。

アルゼンチン(68%が懸念を抱いている)は先月、懸念が過去最高水準に達しました。アルゼンチンは、過去15ヶ月間、インフレを最も懸念してきた国となっています。

2 | 貧困/社会的不平等



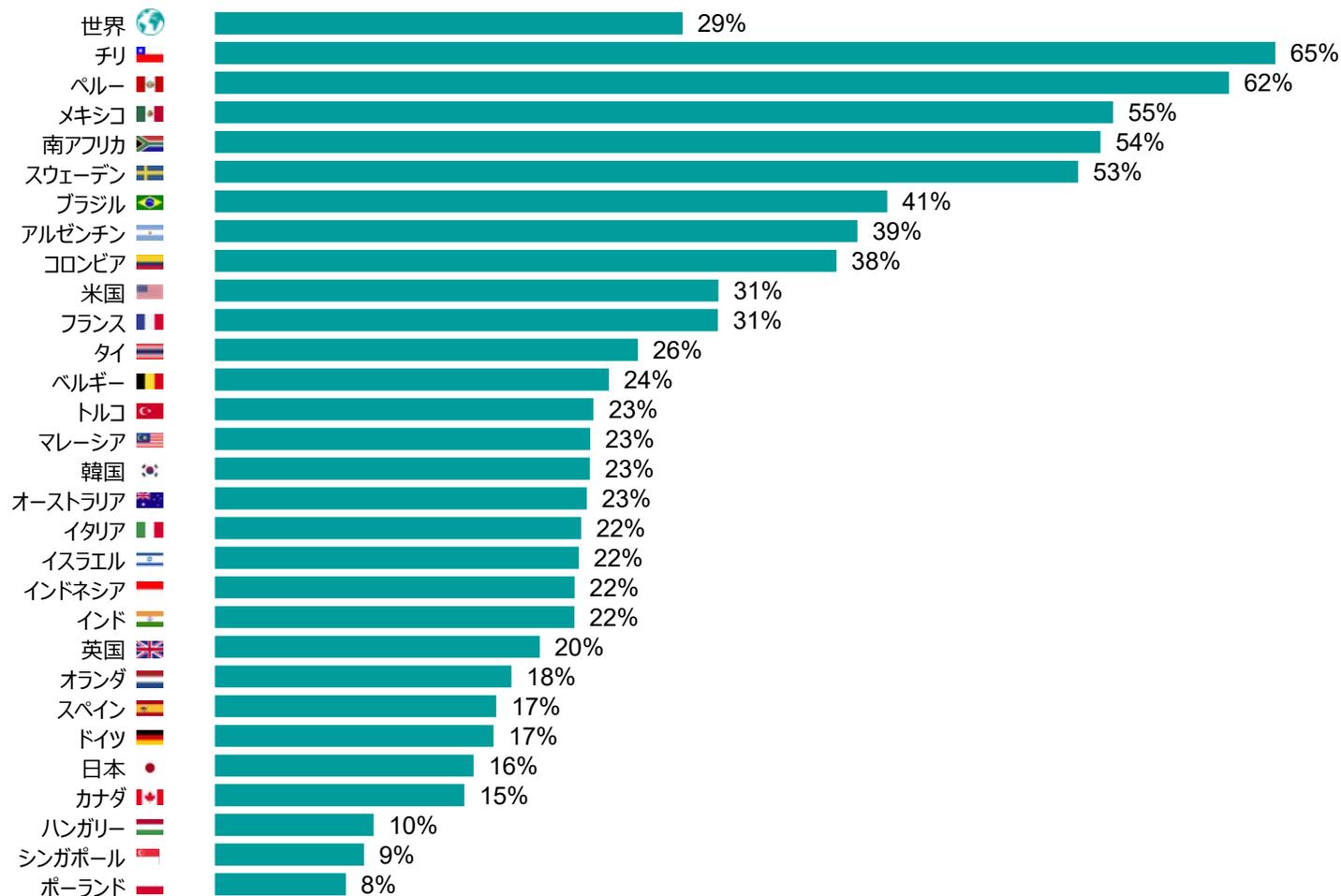
貧困/社会的不平等については、先月からわずかに減少し、3人に1人(29%)が懸念事項として回答しています。

貧困/社会的不平等がベルギーの今月の最大の懸念事項であり、先月の最大の懸念事項であった税金を抜いています。約3分の1(31%)が懸念事項として挙げており、7ポイント上昇しています。

アルゼンチン(40%)は、回答が5ポイント増加し、上位5カ国に入りました。今やインフレに次ぐ、アルゼンチンの第二の懸念事項となっています。

以前はインドネシアにとって3番目に大きな懸念事項であった貧困/社会的不平等が、現在では国民の5分の2以上(44%)が回答し、2番目に高い懸念事項となっています。

3 | 犯罪/暴力



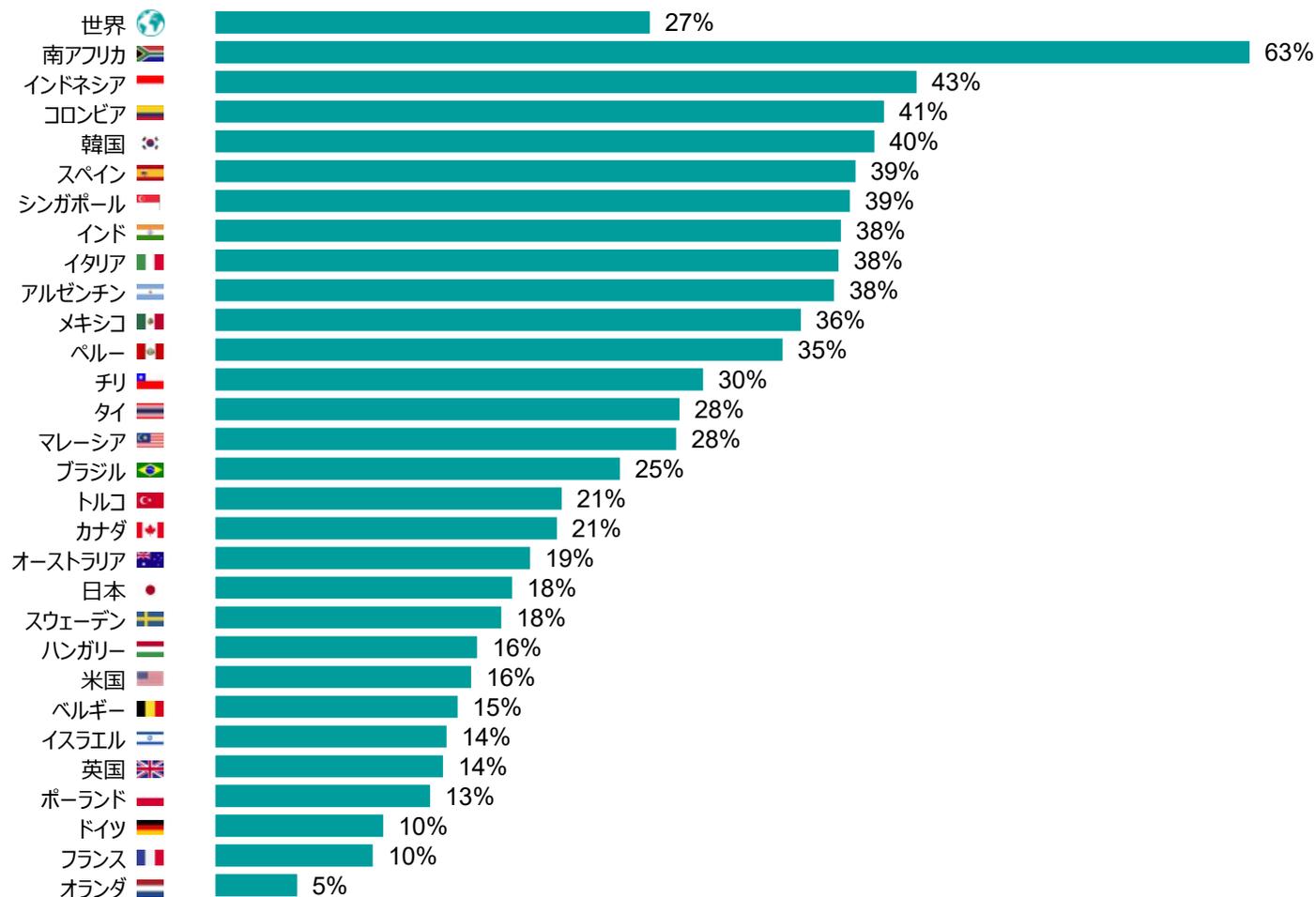
29カ国で10人に3人弱(29%)が自国での懸念事項として犯罪/暴力を選んでいました。

犯罪/暴力が最大の懸念事項であると回答した6カ国のうち4カ国がラテンアメリカ諸国であり、チリ(65%)、ペルー(62%)、メキシコ(55%)、ブラジル(41%)となっています。スウェーデンは5番目です。

スウェーデン(53%)は先月2番目に高いスコアでしたが、今月10ポイント下がっています。これは2023年5月以来のスウェーデンの最低記録です。

逆に、チリは2023年5月以来の懸念の高さを記録しています。

4 | 失業

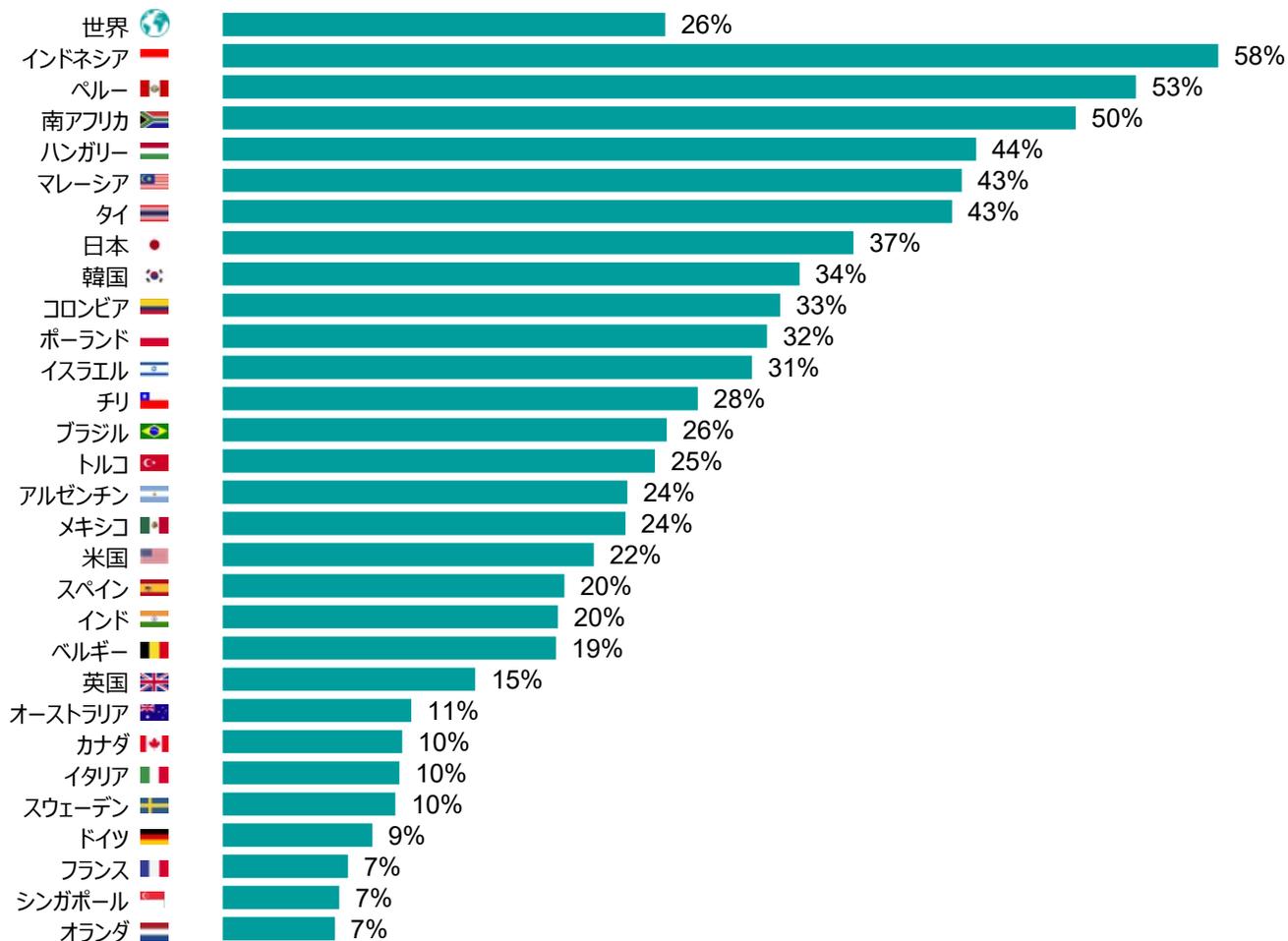


29カ国で4人に1人強(27%)が、1月の最大の懸念事項のひとつに失業を選んでいました。これは先月と同じスコアです。

コロンビアは4ポイント増の41%となり、今やコロンビアにとって失業は最大の懸念事項となっています。南アフリカ(63%)、スペイン(39%)、イタリア(38%)は、今回も失業が最大の懸念事項となっています。2021年4月以来、毎月南アフリカの1番を記録しています。

他方、フランスは失業に対する懸念が最も低く、わずか10%です。より長期的な視点で見ると、10年前の今月、フランスでは61%が失業が国を左右する最大の問題のひとつだと答えていました。

5 | 金融/政治腐敗

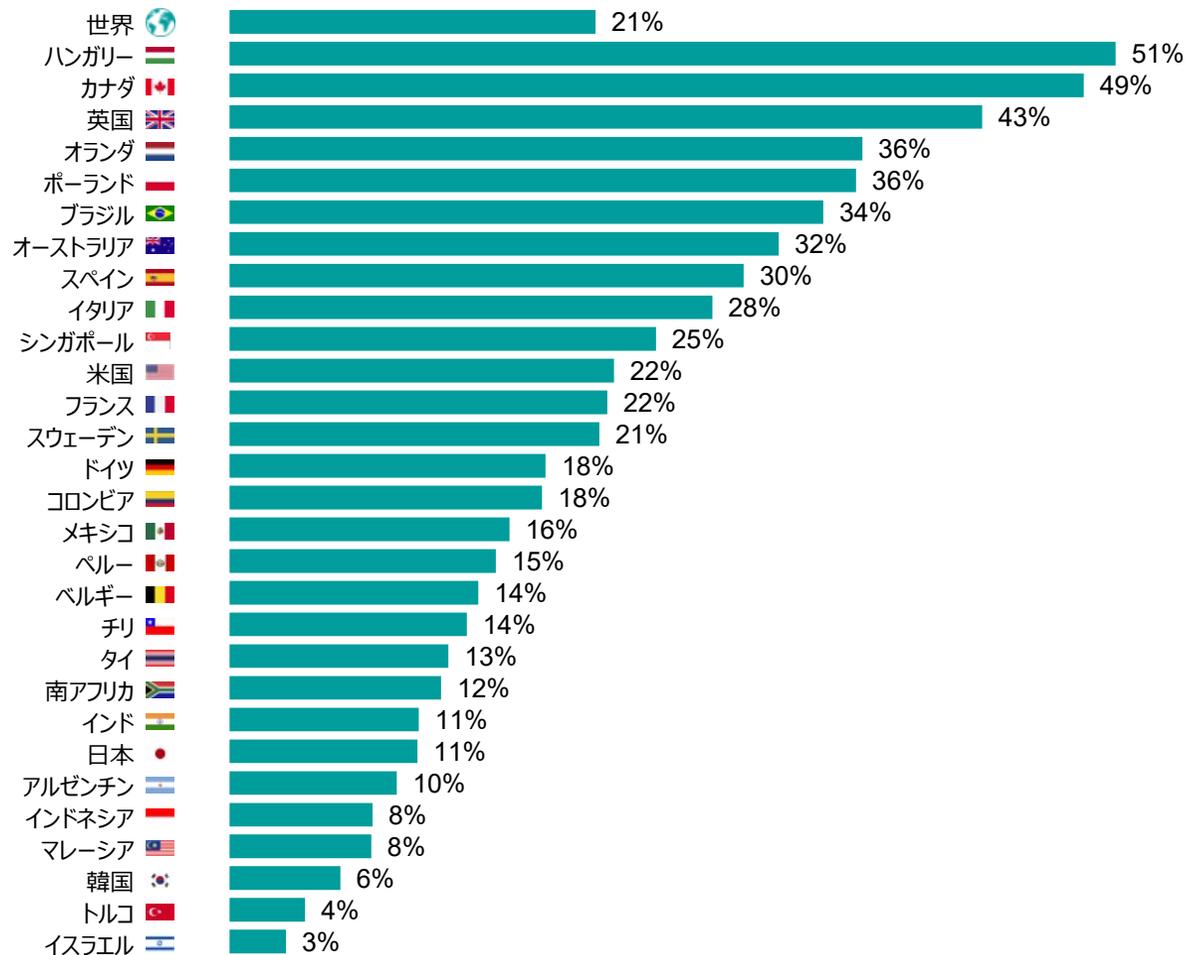


金融/政治腐敗は、29カ国で4人に1人(26%)が懸念事項として選択し、「世界が懸念していること」調査で5番目に大きな懸念となっています。

日本では、今月、回答が18ポイント上昇し、ほぼ5分の2(37%)に達しています。金融/政治腐敗はいまや日本人の最大の懸念事項であり、今月の記録は過去10年間で最高となっています。タイ(43%)も最も高い懸念事項として挙げています。

ペルー(53%)はもはや金融/政治腐敗を最大の懸念事項とはしていませんが、インドネシア(58%)とマレーシア(43%)は依然として金融/政治腐敗を懸念しています。しかしながら、マレーシアの回答は今月7ポイント低下しています。

6 | ヘルスケア

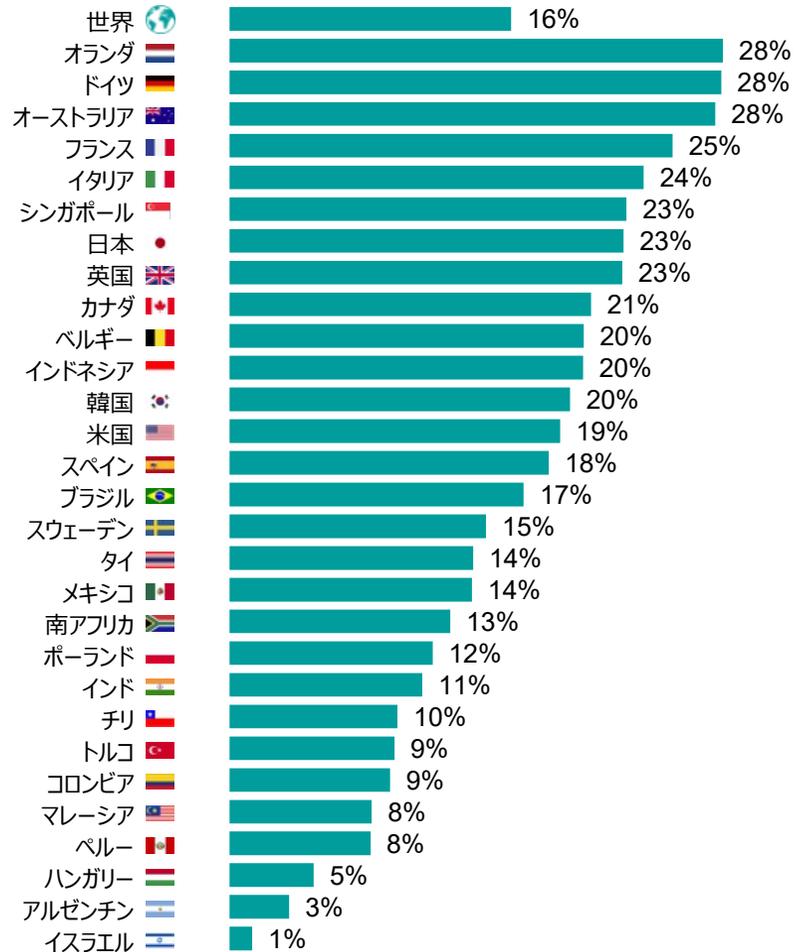


世界平均で5分の1(21%)が医療について回答しており、6番目の懸念事項となっています。医療に関する懸念レベルは安定しており、2023年1月時点でも21%でした。

医療はハンガリーの主要課題であり、ハンガリー一人の半数(51%)が医療を回答しています。これは過去12ヶ月のうち10ヶ月でトップであり、ハンガリーの最大の懸念事項といえます。

英国もまた、5分の2強(43%)が医療を第一の懸念事項として挙げています。インフレがトップだった2023年9月以降、英国で最も高い懸念事項となっています。英国の最高記録は2018年2月の49%です。

8 | 気候変動



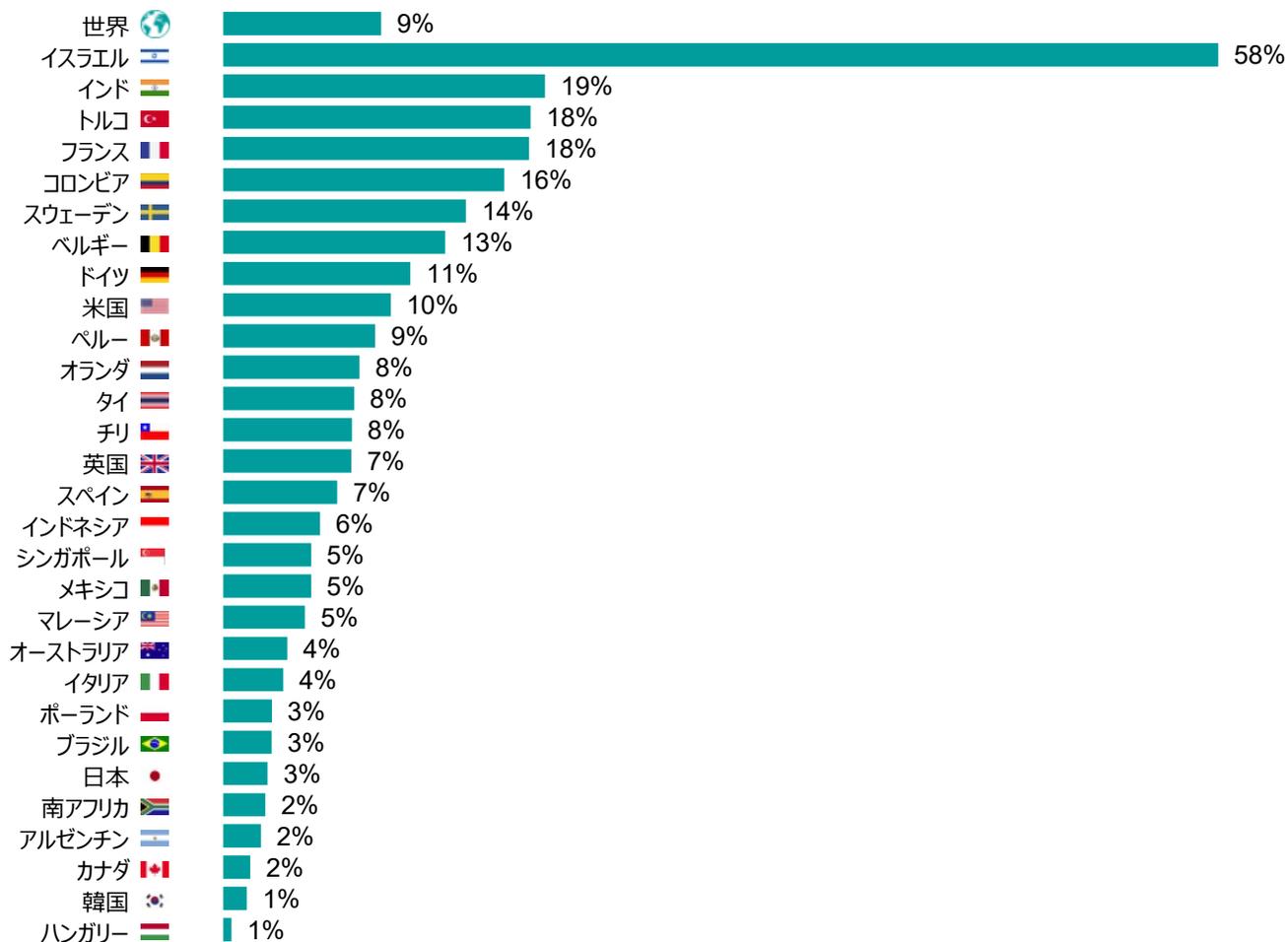
気候変動を懸念事項として挙げているのは16%で、先月から変化はありません。

ドイツは先月から5ポイント上昇して28%となり、オーストラリア、オランダと並んで最も懸念を感じている国となっています。これにより、気候変動は、インフレ・移民規制、貧困/社会的不平等に次いで、ドイツで3番目に高い問題になっています。

オーストラリアは夏のピークを迎えていますが、28%というスコアは、2021年に27%が懸念事項として気候変動を選んで以来、1月としては最低の数字となっています。

シンガポール(23%)は先月、最も懸念を感じていた国でしたが、回答は10ポイント低下し、最も懸念を感じている国のトップ5から外れています。

12 | テロ

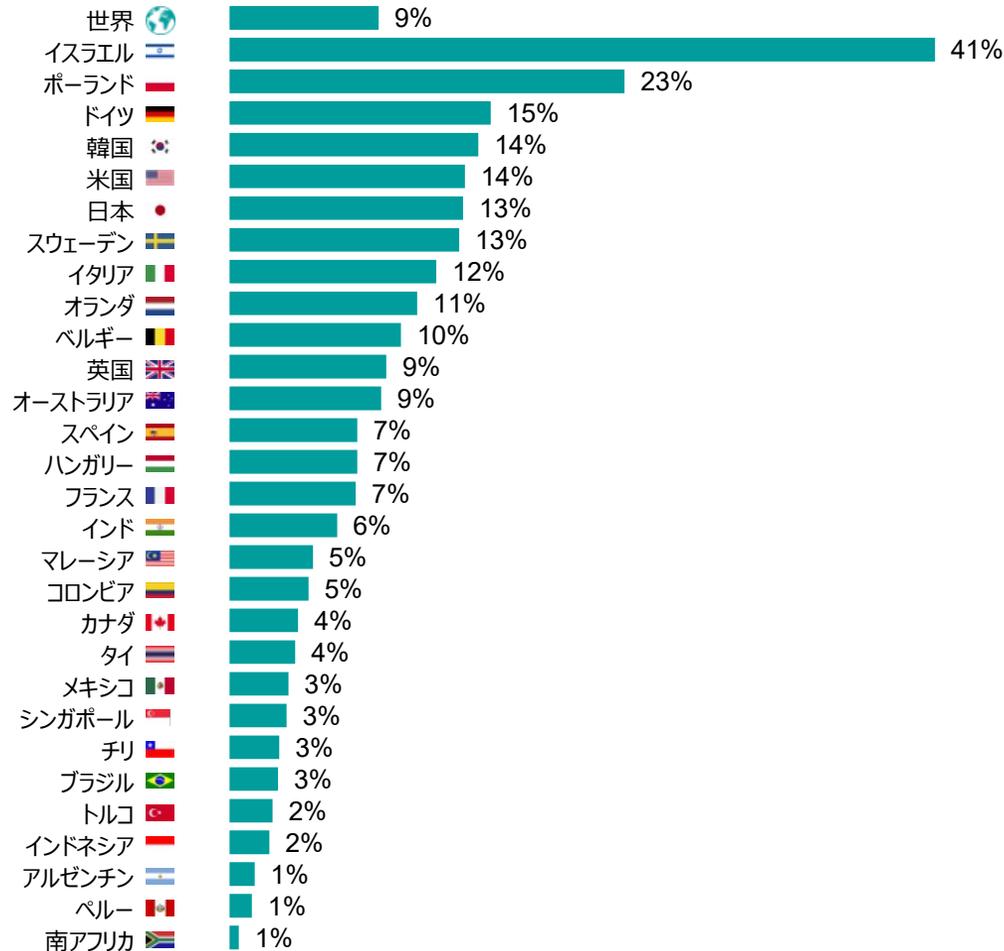


テロは世界の懸念事項の第12位にランクされています。29カ国で9%が問題として選択し、モラルの低下と国家間の軍事衝突の間にランクされています。

最も懸念しているのはイスラエルで、58%が自国に影響する重要な問題のひとつだと答えています。10月7日の攻撃以来、イスラエルが最も懸念している事項です。11月(63%)、12月(64%)と2か月にわたって懸念が増加した後、今月は5ポイント低下しています。

その他の国を見ると、インド、トルコ、フランスでは5人に1人近くがテロを懸念しています。

13 | 国家間の軍事衝突

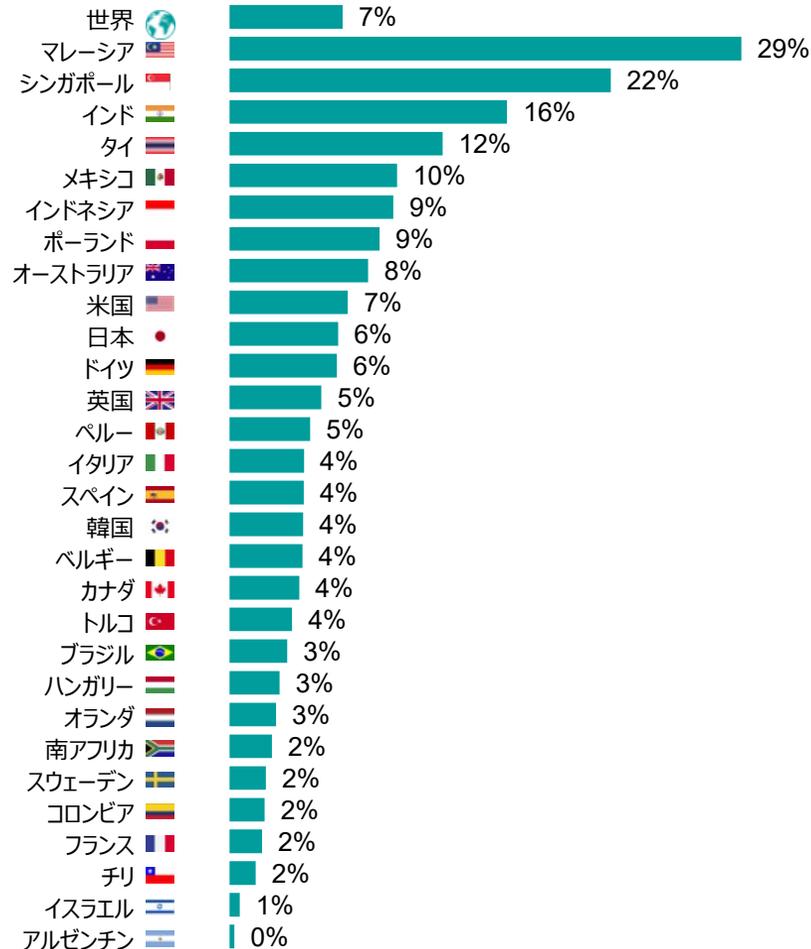


国家間の軍事衝突については、回答がわずかに増加したため、今月は14位から13位にランクを上げています。現在テロを懸念事項として挙げる割合と同等です。

イスラエルは依然として、大差をつけて最も懸念している国です。イスラエル国民の5分の2(41%)がこの問題を最大の懸念事項として挙げており、12月から5ポイント上昇しています。この数値は先月の低下から戻りつつあり、11月のスコア43%にもう少して届きそうです。

ポーランドは5分の1以上(23%)が回答しており、今月は2ポイント上昇しています。ポーランドの懸念は2022年4月にこの項目の調査を開始して以来、比較的高い水準で推移してきましたが、徐々に減少しています。今月のスコアは2022年4月より15ポイント低い結果となりました。

17 | 新型コロナウイルス(COVID-19)



新型コロナウイルスの最新株が、今月の総合得点をわずかに伸ばした可能性があります。回答は7%(+3ポイント)と、一見控えめな数字に上昇しています。しかし、2023年2月の9%以来、最も高いスコアとなっています。

マレーシアでは、回答が12月から17ポイント上昇し、今月は29%となっており、懸念が高まっています。今や金融/政治腐敗とインフレに次いで、マレーシア国民の3番目の懸念事項となっています。

他のAPAC諸国でも増加しています。シンガポール(22%)は8ポイント上昇、インド(16%)は10ポイント上昇、インドネシア(9%)は5ポイント上昇しています。メキシコは現在、10人に1人(10%)が回答しており、先月からさらに5ポイント上昇しています。

経済への注目

自国の経済状況

イプソスの「世界が懸念していること調査(What Worries the World)」と並び、毎月実施されている「世界消費者信頼感調査」は、29カ国の一般消費者を対象に、国と個人のレベルにおける経済と金融について調査を実施しています。

以下のセクションでは、このデータの一部を用いて、今月の「世界が懸念していること調査」レポートの背景を説明しています。これは、国民が自国の現在の経済情勢をどのように評価しているかを示すものです。

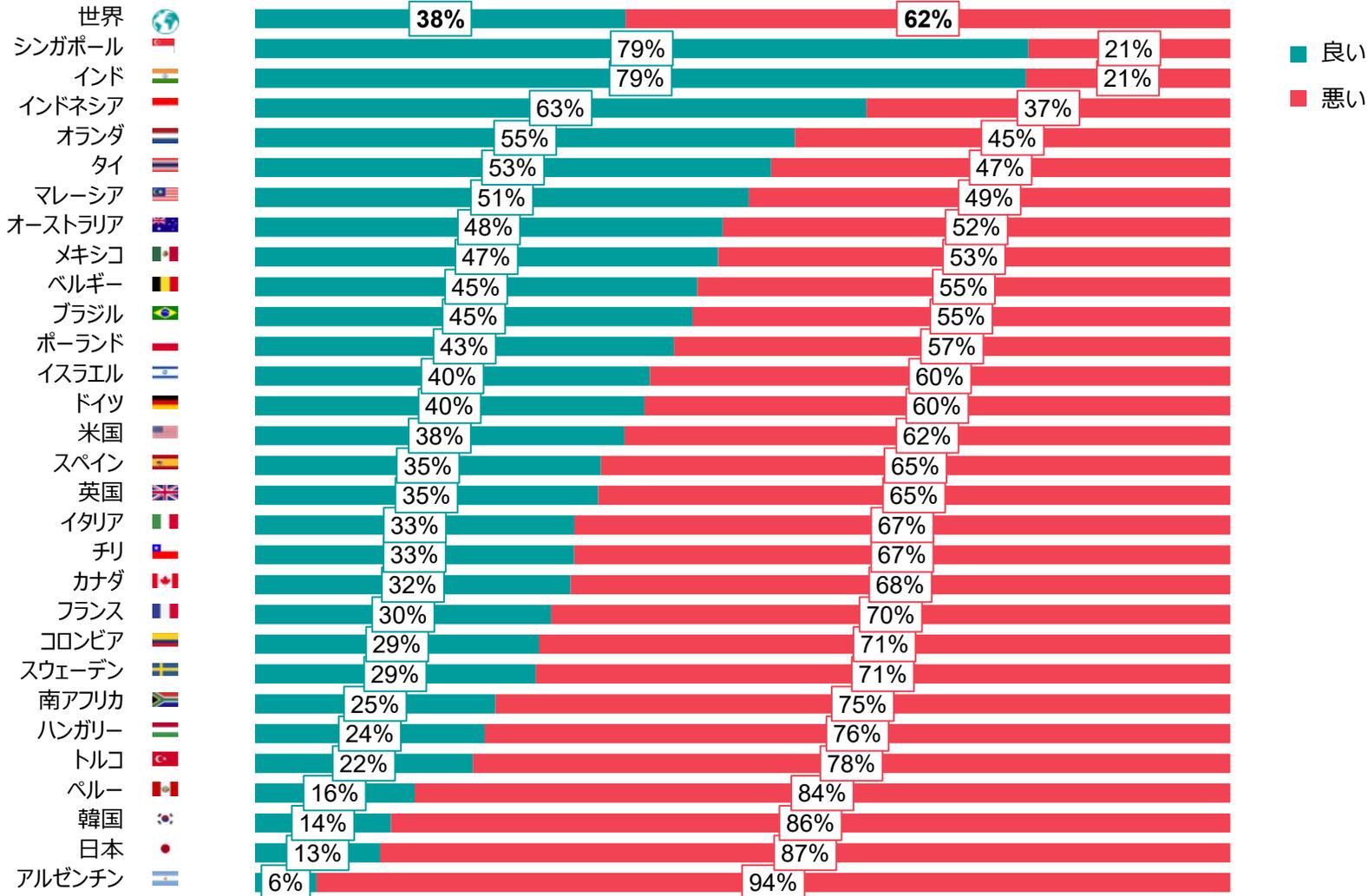
詳しくは Teodros.Gebrekal@Ipsos.com までお問い合わせください。



現在の経済状況

経済に関する認識の詳細については、[イプソスグローバル消費者信頼感調査](#)をご確認ください。

Q 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？



現在の自国の経済状況を「良い」とする人の割合は、世界平均で先月より2ポイント上昇し、ほぼ10人に4人(38%)となっています。

シンガポールとインドは、10人に8人(79%)が自国の経済状況を「良い」と回答し、最も前向きな国といえます。アルゼンチンはまたしても、今回の調査で最も悲観的な国となっています。

自国経済に対する認識が先月から最も改善したのは、英国(12ポイント増)、チリ、フランス(ともに10ポイント増)です。今月、タイは前月比3ポイントの上昇を記録し、過去最高の「良い」経済スコアを記録しています。

一方、メキシコは現在の経済状況が良いと答えた人が6ポイント減少し、イスラエルとハンガリー(ともに4ポイント減少)しています。

現在の経済状況：チリ

チリの「良い」経済スコアは先月から10ポイント上昇している。

Q 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？
(「非常に良い」「ある程度良い」の割合)



ベース：チリの16～74歳成人約500人の代表サンプル。2014～2024年に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

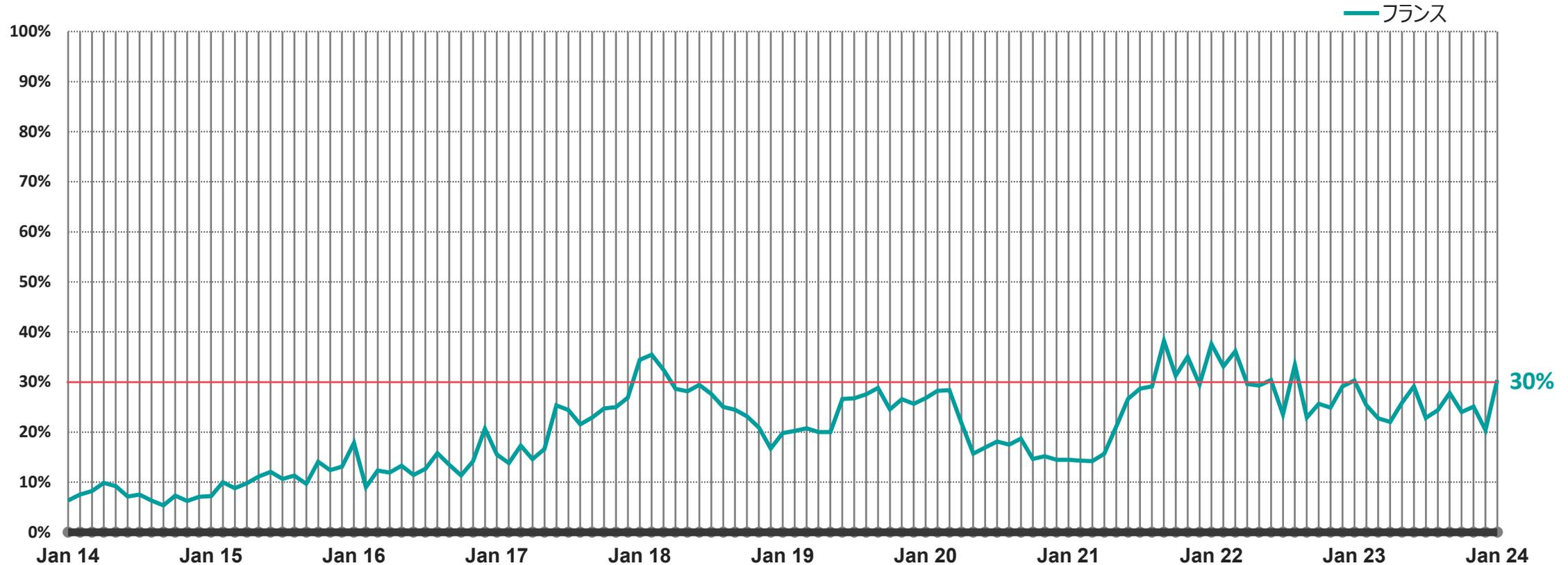
25 © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Jan 24

現在の経済状況：フランス

フランスの「良い」経済スコアは先月から10ポイント上昇している。今月のスコアは、他の多くの調査対象国に比べて低いですが、過去と比べて高い。

Q 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？
(「非常に良い」「ある程度良い」の割合)



ベース：フランスの16～74歳成人約1000人の代表サンプル。2014～2024年に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

26 © Ipsos | 世界が懸念していること

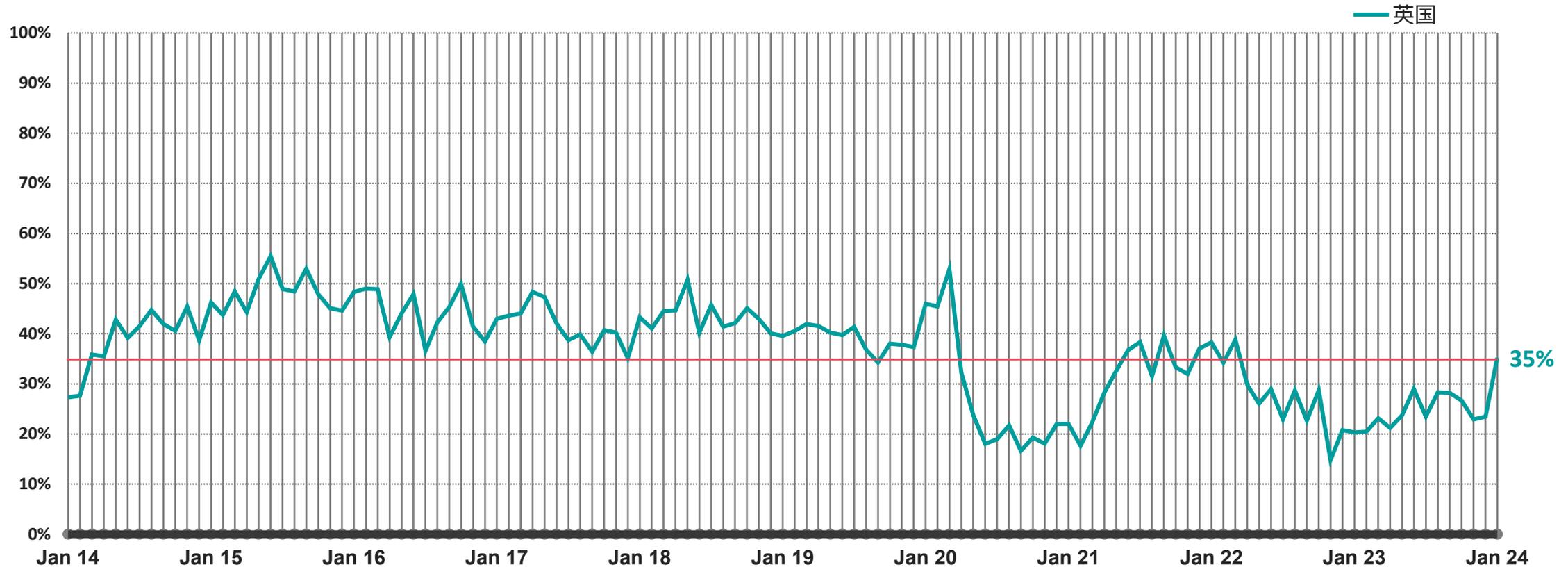
Filter: Country: World | Current Wave: Jan 24



現在の経済状況：英国

英国の「良い」経済スコアは前月から12ポイント上昇し、2022年3月以来の高水準となっている(39%)。

Q 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？
(「非常に良い」「ある程度良い」の割合)



ベース：英国の16～74歳成人約1000人の代表サンプル。2014～2024年に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

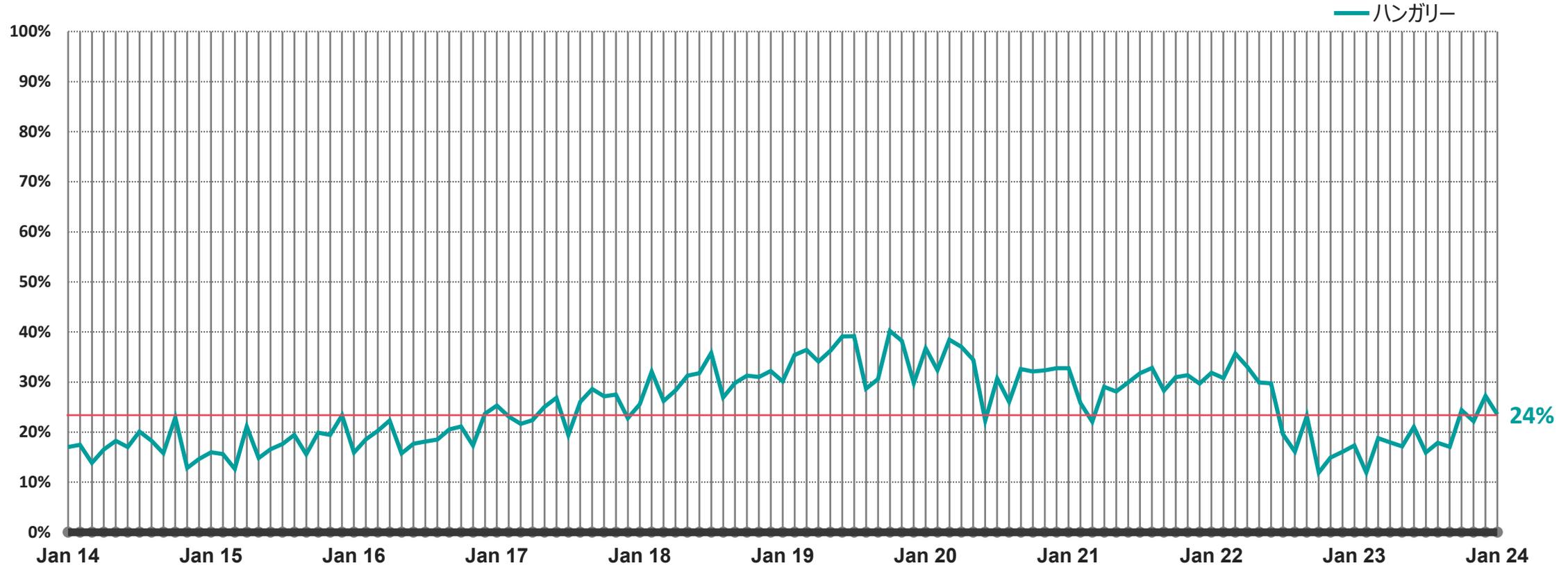
27 © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Jan 24

現在の経済状況：ハンガリー

ハンガリーの「良い」経済スコアは前月比で4ポイント低下している。

Q 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？
(「非常に良い」「ある程度良い」の割合)



ベース：ハンガリーの16～74歳成人約500人の代表サンプル。2014～2024年に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

28 © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Jan 24



現在の経済状況：イスラエル

イスラエルの「良い」経済スコアは
今月4ポイント低下している。

Q 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？
(「非常に良い」「ある程度良い」の割合)



ベース：イスラエルの16～74歳成人約500人の代表サンプル。2014～2024年に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

29 © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Jan 24



現在の経済状況：メキシコ

メキシコの「良い」経済スコアは前月より6ポイント下がったものの、以前のスコアと比較するとまだ高い。

Q 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？
(「非常に良い」「ある程度良い」の割合)



ベース：メキシコの16～74歳成人約500人の代表サンプル。2014～2024年に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

30 © Ipsos | 世界が懸念していること

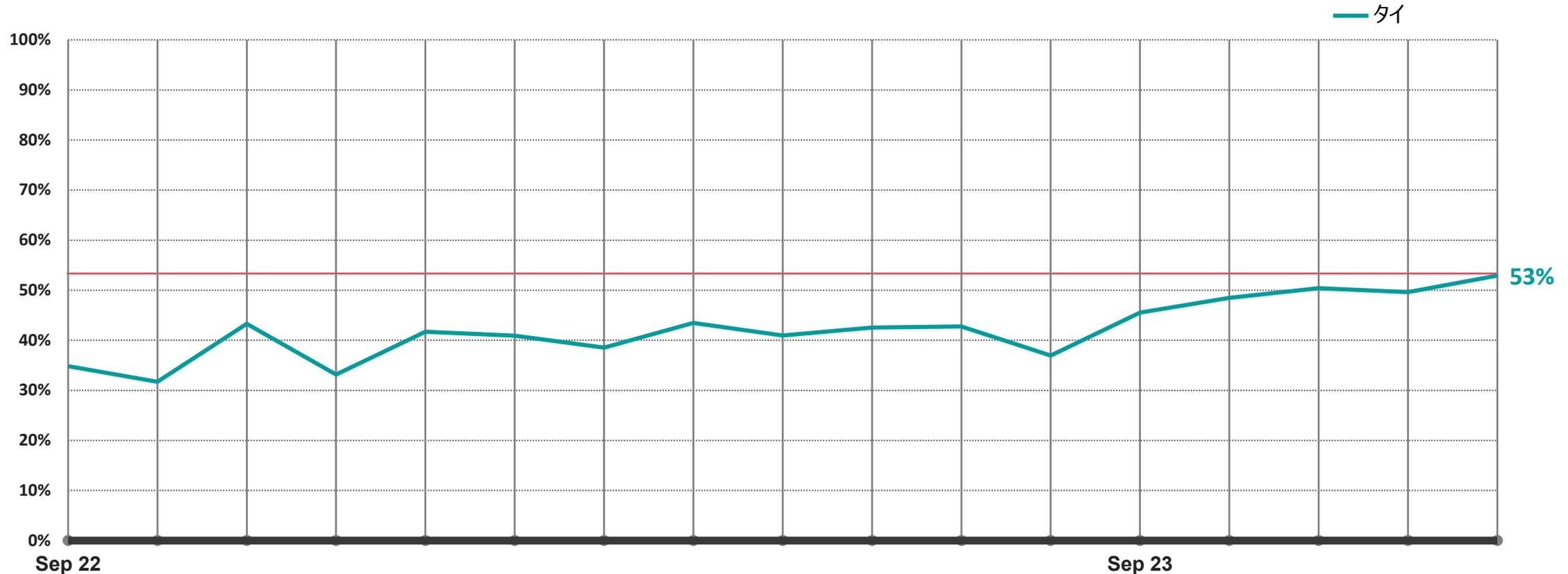
Filter: Country: World | Current Wave: Jan 24



現在の経済状況：タイ

タイは今月、過去最高の「良い」経済スコアを記録し、2022年9月に調査対象に加わった時(35%)より18ポイント上昇している。

Q 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？
(「非常に良い」「ある程度良い」の割合)



ベース：タイの16～74歳成人約500人の代表サンプル。2014～2024年に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

31 © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Jan 24

調査手法

この29カ国のグローバルアドバイザー調査は、2023年12月22日から2024年1月5日にかけて、カナダ、イスラエル、マレーシア、南アフリカ、トルコ、米国の18～74歳、インドネシアとタイの20～74歳、シンガポールの21～74歳、その他の国の16～74歳の成人22,270人を対象に、イプソスのオンライン調査プラットフォームで実施された。

「世界各国平均」は、調査を実施したすべての国の平均値である。各国の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。

サンプルは、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、イタリア、イスラエル、日本、メキシコ、スペイン、スウェーデン、米国の各1000人以上、アルゼンチン、チリ、コロンビア、ハンガリー、インド、インドネシア、マレーシア、オランダ、ペルー、ポーランド、シンガポール、南アフリカ、韓国、タイ、トルコの各500人以上からなる。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、韓国、スペイン、スウェーデン、米国のサンプルは、その国の75歳未満の一般人口を代表しているとみなすことができる。

ブラジル、チリ、コロンビア、インド、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。これらの市場の調査結果は、人口のうち、より「コネクテッド」な層の意見を反映していると言えるだろう。

人口統計のバランスをとり、サンプル構成が最新の国勢調査データを反映した成人人口の構成比になるよう、ウェイト付けが行われている。

イプソスのオンライン調査の精度は、1,000人の世論調査は±3.5パーセントポイント、500人の世論調査の場合は±5.0パーセントポイントの信頼区間を用いて計算されている。イプソスの信頼区間の使用に関する詳細は、イプソスのウェブサイト参照のこと。

パーセンテージの合計が100にならない場合、または「差」が実際より+/-1多いまたは少なく見える場合は、四捨五入、複数回答、「わからない」または未回答の除外による可能性がある。

本調査結果の公表は、現地の規則に従う。